

【音戸中学校区 学校教育目標】

夢や志をもち 自ら動き たくましく生活する児童生徒の育成

【音戸中学校区 研究主題】

主体的に学び合う児童生徒の育成

知識・技能

思考力・判断力・表現力

協働的に関わる力

地域の一員として関わる力

学力向上部会

- ◆ 「わかる」「できる」「次はこうしたい」を実感できる授業づくり

生徒指導部会

- ◆ 居場所・つながりづくり

主体的に参加できる授業づくり

- ・ 特別支援教育の視点を取り入れた音戸中学校区授業モデルの活用
（「わかる」「できる」）
- ・ 複数の選択肢と自己決定の機会の充実
（「次はこうしたい」）
- ・ 子どもの姿からの研究協議
- ・ 振り返りの充実と活用

安心して学べる基盤づくり

- ・ 学習規律の徹底
- ・ 生徒指導の4つの視点を生かした安心して学べる環境づくり（居場所）
 - ★自己存在感の感受
 - ★共感的な人間関係の育成
 - ★自己決定の場の提供
 - ★安全・安心な風土の醸成
- ・ 感情コントロールトレーニング
- ・ 学級・縦割り班・児童会生徒会活動の充実
- ・ 異学年交流（つながり）の充実
- ・ 情報モラル教育の充実

基礎学力向上の取組

- ・ 児童生徒のつまずきの要因分析
- ・ 授業冒頭の「確認タイム」
- ・ 乗り入れ授業の充実

地域の環境・人材を活用

- ・ カリキュラムマップの活用
- ・ 「人」「もの」「こと」のつながりを意識した単元づくり
- ・ 目的・相手を意識したパフォーマンス課題の設定

がんばりを認められる場の設定

- ・ 各学校の実態に応じた様々な表彰

基本的な生活習慣の定着

- ・ 早寝・早起き・朝ごはん
- ・ 保護者を巻き込んだメディアルール確立

体力向上の取組

- ・ 陸上記録会小中連携
- ・ 「くれ・チャレンジマッチ・スタジアム」
- ・ 体力テスト分析

生活向上部会

- ◆ 自ら健やかな心身をつくる取組の工夫